

COC Monthly News Letter

COC: Center of Community (地(知)の拠点)

Yamanashi Prefectural University

山梨県立大学の地域貢献
活動を毎月1回お届けします。

2015年4月号

Vol.

11

グローバルな知の拠点となる大学
未来の実践的担い手を育てる大学
地域に開かれ地域と向き合う大学

Topics 最新のニュース・話題など大学での出来事をお伝えします。

◇新しい地域戦略総合センター長・副センター長 就任のお知らせ

公立大学法人後の初代理事長・学長として、6年に亘り大学改革等でご尽力された伊藤洋氏に代わり2015年4月1日より清水一彦氏が学長に就任致しました。

1. 教育面においては、学生の視点に立った質の高い教育を実践します。
2. 研究面においては、研究者のモチベーションとオリジナリティを發揮させる環境を形成します。
3. 地域貢献においては、地域に根ざし、地域と共に歩む大学づくりを実践します。
4. 国際面においては、国際的通用性・信頼性をもった国際交流事業を推進します。
5. 管理・運営面においては、透明性、公平性の貫徹した大学運営を実行します

以上のような大学の機能に応じた戦略目標を掲げ実現していきたいと考えておられます。清水学長には地域戦略総合センター長としてもご尽力をいただきます。

また、副センター長としてCOC事業立ち上げ時から力を貸していただきました波木井昇理事と吉田均教授(国際政策学部国際コミュニケーション学科)に代わり、山本隆司理事と二戸麻砂彦教授(国際政策学部国際コミュニケーション学科)の2名が副センター長に就任致しました。今年度からのCOC事業をいっそう引っ張って頂けると幸いです。

新メンバーで新たなスタートをきった地域戦略総合センターですが、今年度も引き続き地域ニーズと大学シーズとのマッチングによる地域課題解決へ向けた活動を実施していきますので今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

イベント情報 気になる話題の情報やためになる講習会や研修をご紹介します。

★学生ガイダンス

4月に入り、新入生・進級した学生対象のガイダンスを行います。COC事業の説明も以下の時間から15分程、説明させていただく予定になっています。

【池田キャンパス】4月7日(火) 10:15~4年生(講堂)、11:30~1年生(101講義室)
13:00~3年生(講堂)、14:10~2年生(201講義室)

【飯田キャンパス】4月7日(火) 15:20~3年生

4月8日(水) 11:10~2年生、13:45~4年生

4月13日(月) 11:25~1年生

※会場は全日程「講堂」となっています。

【問い合わせ先】山梨県立大学 地域戦略総合センター

TEL/055-225-5412 FAX/055-225-1150 Mail/info-coc@yamanashi-ken.ac.jp

今月のプロジェクト 大学が自信を持っておすすめするプロジェクトのご案内。

<中心市街地活性化～甲府へリテージ発掘活用プロジェクト～>

私が「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）として展開しているのは、「甲府へリテージ発掘活用プロジェクト」です。このプロジェクトに着手するきっかけは、学生から「甲府の中心市街地は何もない、だから行かない！」という言葉をしつぱしば耳にしていたからです。少なくとも戦国時代以降の豊かな歴史を有する甲府中心市街地に何もないわけではない、それなら実際に自分たちで確かめてみようということで中心市街地の「宝」（地域資源）を発掘するプロジェクトを始めることにしたわけです。

調査方法は至ってシンプルで、我がゼミ生17人が手分けをして甲府市の中心市街地及びその周辺のすべての道を歩き、「甲府らしい」地域資源を探し、「人」「文化・芸術」「暮らし」「歴史」「自然」「風景」「B級」といったカテゴリーに整理しながら、調査項目に従って記録し、HPにアップしていくというものです。毎週金曜日、現地観察、ヒアリング調査、写真記録などを通して、500個の地域資源を発掘することを目標に2014年度の1年間活動をしてきました。

現在、その成果は、私の研究室のHPで見ることができます。

(<http://adachi-seminar.yamanashi-ken.ac.jp/heritage>)。まだ、500個に到達していませんが、継続することによって目標は達成したいと考えています。学生達は、自分の足で街を歩き、そこに住んでいる人、働いている人に直接話を聞くことによって、思いがけない甲府の魅力をいっぱい見つけることができたと思います。しかしそれ以上の効果は、ほんの少しかもしれませんが、学生の中心市街地に対する認識が変わってきているように感じることです。つまり、自分たちが住んでいる甲府という街に対する愛着が醸成されつつあるように感じることです。今後は、まだ点となっている地域資源を物語性を持った線、面へとつなげ、かつ地域の皆様が楽しんで活用できるものへと改良し、提供していければいいな、と考えています。

（国際政策学部 准教授 安達義通）

担当教員紹介 個性派揃いの優秀な教員の意外な素顔を紹介します。



国際政策学部/安達義通准教授(真ん中)

私は、大学卒業後、地域振興系のシンクタンクでの勤務、英国ロンドン大学（地域計画学専攻）への留学、とっとり政策総合研究センターでの地域研究に従事したのち、2009年本学に赴任してきました。

現在、地域振興、まちづくりという分野を中心に研究・教育を行っています。研究に関しては、コミュニティビジネスに関心を持っており、『ソーシャルビジネスのおこし方』という冊子に山梨県内の優良事例を分析的にまとめさせていただきました。

教育に関しては、ゼミ活動に力を入れており、2010～2013年度まで山梨県内外、あるいは国内外の地域振興の事例を調査・紹介するゼミ機関誌「VISION」を制作・発行しました。取材先の選択、ヒアリング調査、レポート執筆まで、すべて学生が主体となって取り組んでいます。学生の自主性、ヒアリングの能力、論理性を養うのが目的です。2014年度は、先に紹介した「甲府へリテージ発掘活用プロジェクト」に着手しました。これからも国際的な視点を保持しつつも、学生と街を歩いたり、実践者に話を聞いたりして地域を知り、その足で稼いだ情報を地域に還元することによって、地域に貢献したいと考えています。

（国際政策学部 准教授 安達義通）

編集後記

“ピカピカの一年生”が至るところで誕生する4月は、まさに人生の節目の時期ですね。思いおこせば入学・就職と新しいスタートに向けて、希望に夢ふくらませ張りきっていた気がします。私もあの頃の気持ちを思いだしながら日々前進あるのみ！頑張ってくださいと思います。

Mika

編集発行：公立大学法人 山梨県立大学 地域戦略総合センター

〒400-0035 山梨県甲府市飯田5-11-1 TEL:055-225-5412 FAX:055-225-1150

ポータルサイトURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/>

購読申し込みURL <http://region.yamanashi-ken.ac.jp/newsletter>

文部科学省

地(知)の拠点



山梨県立大学
Yamanashi Prefectural University